No.	017	_	10	08	事	務事	業名						総	系費	(公共	下水	道庶	務)						公的関与	3
	課	名	-	上下才	k道課		係	名	í	総利	务係		電話者	备号	08	89-96	4-44	16	メール	レアド	・レス	joges	uido@	city.toon.lg.jp	٦
	事業区	分	P	勺部管	管理事	務・その	の他	Į.	事業運営	含方法	直	営	3	ミ施言	一画	非談	送当	事	業期	間		年月	€ ~	期間設定な	l
	総合計	画	政策	目標	2 安全	全で快	適な社	土会基	基盤のま	道等	の整備	主要施策 6 下水道事業の健全							全運営						
	事業の	目的	下水:		業の運	営営にま	あたり:	必要。	となる各	根拠	法令等	地方公営企業法													
PL	事業の	手段			企業法 を行い		づく手	·続き·	や各種	掲載	找計画														
A			指標名 計算式又は指標設定理由											単位		令和	3	年度	令和	4	年度	令和 5	年度	最終目標	į
N			リーン	へ車両	導入	率		IJ	リース車両数/公用車両数						目標実績		33.3 33.3			66.6 66.6		10	0	100	_
	達成度 測る指														目標										
														-	実績										_
															目標 実績										-
			(1)	使用	料単位	15の適	正化(の検言	寸(4年ご	ごと)				4	大小				<u> </u>						_
										(47-6)															
	活動内]谷	② 上下水道事業経営審議会の開催											5											
			③ 消費税インボイス対応 会計 下水道事業会計 費目名																						
	予算費	会	計									費目名					総係			1	費				
D O			_			令和	1	3	年度法		令和		4 £	F度法		令	和	5	年	度予		1	莆	考	
	直接事業費		国·県支出金 地方債						0 千円) 千円						千円				
				リクリ 他特定						 				0 千円						千円					
				般財					0 千円						子門	 					千円				
			計(A)						156					3 千円	 					千円					
			正職員工数・経費			0.754 人			4,759) 千円		754	人	_							
	人件費(B)		臨時職員工数・経費			0.000 人			0 千円				人 -		0 千円				+ -						
	全体	事業	上 小 小	+ B)					5 千円					7 千円	<u> </u>			4.	885					
	一次評		総務係			総合評価点							有効性	Ė			3	効率	率性	2		の方向性	Ė	現状維持	
	項目						評		価	項	目	の	彭	ź	明	(-;	欠評	価者	のコ	メン	(+)				
	必要性	公共月	評価項目の説明(一次評価者のコメント) 公共用水域の水質保全や生活環境の改善を図るため、下水道事業の運営は必要不可欠です。																						
ОН	有効性		コ減少や節水意識の向上に伴い、今後有収水量は減少すると見込まれます。そのため、施設の長寿命化や適正な使用料単価の設定など今後 F定した経営を目指した経営努力が必要です。															X.Z.							
EС			大正した経営を日相した経営労力が必要です。 共下水道事業は経費回収率が100%を超えるなど、健全な経営が行えています。農業集落排水は類似団体と比較して高い回収率ではあります。 100%には届いていないため、維持管理費の削減等の努力を継続していく必要があります。															-							
К • А		基準タ 行って				こ向け	た資ス	本費≦	下準化	責の導	入、概成	後の	処理施	設維	持管理	里を長	期継	続契	約にす	-る等	、コス	小削減に	向けた	た取組を今後	1
CT	当面の 課 題					識の高	まりに	こよる	有収水:	量の減	少に伴	い、使	ラ 用料収	又入の	減少	が予想	lされ	ます。							1
ч 0 z	改革								1えて、1 ります。		画による	5将来	の収支	子測	に基っ	づく使り	用料i	適正化	上の検	:討を	4年こ	ごとに継続	記して行	テうことで、 資 <i>金</i>	Æ
- ' '	二次評				道課長	#		合	В		要性	4 1	有効性	4	達月	或度	3	効率	率性	2	今後	の方向性		現状維持	
	二次 の指					も 下水	道事	業全体			状況や		権成度等	事の拒	捏に	努め、	下水	道事	業のみ	ょなら	ず水	道事業が	らも情	報収集を行い	١,

No.	017	_	200)1	務事	業名						総係	費	(滞約	内整理₹	事務)					公的	関与 3
	課	名	F	:下水道課	Ę	係	ર	3	料金	仓係	電	話番号	클	08	9-964-	4416	メー	-ルアト	・レス	jogesuido	@city.to	on.lg.jp
	事業区	分		経常的事	事務事	業	the	事業運営	方法	直営	í	実施	計	画	非該	当	事業其	朋間		年度	~ 期間	設定なし
	総合計	画	政策目	1標 2 安	全で快	快適な	社会基	甚盤のま	ち	政策項目	4上	下水道	等0)整備	Ħ		主星	更施策	3 水	道事業の健全	全運営	
	事業の目	目的	水道料	斗金が滞糸	内となっ	ってい	る債材	f権を徴収するため。						去 令等	水道給水条例、水道給水停止処分に関する規程							
PLA	事業の	手段	計画的	りな滞納塾									曷載	計画								
N				指標	票名			計算	式又に	は指標設	定理日	i d	单位		令和	3 年	度 令和	4	年度	令和 5 年	度最	終目標
	達成度		水道料	斗金の収約	内率			又納額/	調定額	額			%	目標 実績		9.0 5.2		99.0 95.3		99.0		99.5
	測る指	_												目標								
														実績			_					
														目標			-				_	
														実績								
				帯納者を打 発送。	曲出し	、督促	状、紅	合水停止	措置	を含めた体	等の	4										
	活動内容		2	分納誓約	者に対	すする戸	再誓約	約の案内、納付催促の連絡。														
			3																			
	予算費	目	会記	it		7.	水道事	業会計			費目	目名				総	係			費		
D O	直接事業費				令和	和	3	年度決	算	令和	4	年度	決	算	令和	1 5	生	F度予	算	備		考
U			国・児	県支出金				0	千円				0	千円				0	千円			
			地方債					0 千円					0	千円				0	千円			
			その他	特定財源				0	千円				0	千円				0	千円			
				段財源				350	千円			3	350	千円				350	千円			
			計(A)					350 千円				3	350	千円				350	千円			
	人件費(B)		正職員.	工数・経費			人	2,266 千円		0.359	人	2,2	280	千円	0.35	9)	. :	2,280	千円			
			臨時職員	員工数・経費	0.314 人		人	636 千円		0.314	人	6	662 千円					`-				
	全体	事業費	ૄ (Α-	+B)			_	3,252	千円			3,2	292	千円				3,292	千円			
	一次評価	西者		料金係	総合評価点		合 点	A 必		要性 4 7		协性	4 達原		成度 4 効]率性 4		今後	の方向性	方法	改善
	項目					評		価	 項	目	の	説	ı	明	(一次	評価	者の=	」メン	/ /)			
	必要性	公平性	評価項目の説明(一次評価者のコメント) 平性の見地から100%に近い収納率を目指して事業を実施していく必要があります。																			
СН	有効性	督促壮	状の送付、給水停止措置を含めた催告書の送付、納付相談を継続していく必要があります。また、関係各課と協力して滞納整理を行います。																			
ECK	達成度	収納率	率は年	々向上し	ている	ため、	概ね	目標は遺	を成し、	ていますだ	ば、更か	なる滞糸	内整:	理を領	実施して	いき	きす。					
A	効率性	中長期	期的な	滞納整理	計画の	り作成	、継続	売可能な	滞納書	隆理の実施	をに加	え、トー	-タル	/収紗	内の導入	を他き	『署と〕	重携し	、導入	を検討する	必要があ	ります。
C T I				分納誓約 推進が課			崔告書	の送付、	給水	停止の執	行等潛	帯納整理	里計	画に	基づく	事業の	実施に	より、	収納率	率は向上して	いますが	、更なる
0 Z	改 革計 画	関係部	邪署との	の連携して	業務	を推進	生する	とともに、	納付	の機会を	曽やす	ための	トー	タル	収納の	尊入に	ついて	市全	体での	の検討が必要	です。	
	二次評価	西者	Ŀ	下水道課	長	総評価	合点	A	必要	要性 4	有刻		3	達原	戊度	3 🕏	小 率性	3	今後	の方向性	方法	改善
	二次記 の指指																			内では料金係 売してください		係と、課

No.	017 -	- 200)7	事務事	業名				総係	費(排	水設(備工事[務)			3	公的関与 1		
	課名	Ŧ	:下水道詞	果	係	名	料金	金係	電記	番号	08	39-964-	4416	メール	レアドレニ	ر jogesui	do@cit	y.toon.lg.jp		
	事業区分		ハー	ド事業		事業運営	営方法	直営		実施計	一画	非該	当 ■	事業期間	間 平	成 16 年度	~	設定期間なし		
	総合計画	政策	目標 2 安	全で特	や適な社会	会基盤のま	きち	政策項目	4 上下	水道等	の整備	主要施策 6 下水道事業の健全運営								
	事業の目的	内 公共 ⁻ め。	下水道及	び農業	集落排力	火施設の 優	全運	営•普及促	根拠	法令等	下水道	法、東	温市公	共下水	水道条例					
P L	事業の手具	排水 定工	設備工事 事店の指	の申請 定及び	審査及び 監督を行	が検査、普 行います。	及促進	色のための	助成、指	掲載	战計画									
A			指	標名		計算	式又に	は指標設:	単位		令和	3 年度	度 令和	4 年	度 令和 5	年度	最終目標			
N	.+ 5 1		開始1年以	以内の	接続率	接続世帯	5/共)	用開始世	%	目標実績		55 52	-	65 57	65		65			
	達成度を 測る指標									目標										
											実績									
											目標			-						
											実績						_			
		1	下水道供 内送付	用開始	台区域世	帯への供用	月開始.	及び各種は	助成の第	4										
	活動内容	2								5										
		3																		
	予算費目	会	it .		下水	道事業会	計		費目:	名			総依	系		費				
D O				令	和 3	年度》		令和	4	年度決	算	令和	1 5	年原	度予算	備		考		
U		国•!	県支出金			() 千円			() 千円				0 千	円				
	直接事業領	掛	方債			() 千円			() 千円				0 千	_				
		その他	也特定財源				0 千円				千円				0 千	_				
			一般財源 計(A)								千円				748 千	_				
			T(A) 工数・経費	0.633 人		3,993 千円		0.000	. 1	1,952		0.633 A		3,748 人 4,018		_				
	人件費(B)	工数・程質 員工数・経費				2 千円	0.633 0.115	人	4,018	2 千円	0.03		_	242 千	_				
	全体事業			0.1	.15 人	1	9 千円	0.115	人	6,212		0.11	5 人	-	008 千	-				
					総合			- La				D	-				_	E 15 /// I+		
	一次評価 ² 項目	首	料金係		評価点評	A 価	必 項	要性 4	有効' の	性 4 説	明			率性		·後の方向性)	į,	見状維持 		
		水の流入	.元である	排水設												•				
СН	有効性 排	水の流入元である排水設備に対し、基準に準じた設備の審査や検査を行い、確認をする必要があります。																		
ЕШС	達成度供	用開始1年	設備の適正な設直により処理場における円滑な方水処理を行うことができます。 開始1年以内の接続率は、目標を少し下回る数値で、概ね達成しています。																	
K	効率性 水	道事業と	並行して	受付•箸	審査・検査	ご等の事務	を行っ	っており、交	動率的に	執行し	ていま	<u></u> す。								
A																				
T	当面の課題	用開始区	域内の未	接続は	世帯への	勧奨を推定	進してい	べ必要が	あります	0										
0 Z	改革計画	接続世帯	の接続勧	が 奨を 丼	進進する呼	対策を検討	けしてい	きます。												
	二次評価	当 上	下水道課	.長	総 合評価点	A	必要	要性 4	E性 4 有効性		達用	述度	3 効	率性	3 今	後の方向性	j	方法改善		
	二次評値 の指摘							いるため、 服収集を行							査や検査	を継続して	ください	い。未接続世		

No.	017	_	300	07	事	務事	業名						:	管路頭	建設費							公的関与 3		
	課	名		上下水	k道課		係	名	整個	備係		電話番	号	08	39-909-7	900	メール	レアド	・レス	jogesui	do@ci	ty.toon.lg.jp		
	事業区	分		,	ハード	事業		事業運	営方法	一音	『委託	美	施計	画	該当	事	業期	間	平成	7 年度	~	令和8年度		
	総合計ī	画	政策	目標	2 安全	全で快泊	適な社会	₹基盤の	まち	政策項	目 4	上下水	道等	の整備	带		主要	施策	4 公共下水道事業の推進					
	事業の目	的						公衆衛生のため。	Eの向上	上、瀬戸	内海を	とはじめ	根拠	法令等	下水道法 都市計画法									
PL	事業の手	-段	計画	区域区	内の汚	5水管導	長の整備	を進めます。						計画	新市建設計画									
A N					指標	[名		計算式又は指標設定理由							令和 3	年度	令和	4	年度	令和 5	年度	最終目標		
N									供用開始区域内人口/行政区域内人口						72. 70.		1	72.4 72.2		72.4		75.2		
	達成度を 測る指	Late	公共	下水泊	道面積	責整備率	ĸ	供用開 域面積		面積/	全体語	十画区	%	目標実績	95. 93.			96.0 95.5		96.8		100.0		
														目標実績										
			1	汚水	管渠雲	修備に係	系る国の)交付金	交付金交付申請事務						管渠整備	おに伴	う舗装行	复旧	工事の)実施	*			
	活動内容	容	2	汚水	管渠磛	を備工!	事の実施	Ĺ					5											
			③ 汚水管渠整備工事の現場監理業務の委託																					
	予算費	目	会	計			下水	道事業会	会計		-	費目名			3	建設改	(良			費				
D	直接事業費					令和	3	年度	決算	令和		4 年	度決	算	令和	5	年	度予	算	備		考		
0			国•	県支は	出金			83,0	00 千円			58	3,000	千円			60,	800	千円					
			地方債					169,200 千円				135	,700	千円			112,800 千円							
			その作	也特定	財源			13,2	95 千円			10	,197	千円			9,	196	千円					
			— <u>;</u>	般財	源			132,8	18 千円			27	,983	千円			70,	945	千円					
			計(A)					398,3		ļ			千円		253,741 千円									
	人件費(B)		正職員工数・経費			2.12	5 人	13,4	13 千円	1.21	14	人 7	7,710	千円	1.214	人	7,	710	千円					
	八川夏(٥,	臨時職員工数・経費		・経費	0.00	0 人		0 千円	0.00	00	人	0	千円	0.000	人		0	千円					
	全体事	業費	費(A+B)					411,7	26 千円	23			9,590 千円				261,45		千円					
	一次評価	适者		整備	備係	糸言	平価点	А	必	要性	4	有効性	4	達用	戊度 4		率性	4		の方向性	ŧ	太大・充実		
	項目	≠ R.a	7.件.评	- 谭 杏	の向	しめか	# 田 水 :	価 ポの水 ^魚	「但今の	10ため心	の m _ナ > =			明	(一次訂	平価者	音のコ	メン	· ト)					
С			民の生活環境の向上や公共用水域の水質保全のため必要な事業です。																					
HE			が集中している区域では、浄化槽等の個別処理より公共下水道の集合処理の方が有利となります。 18年度には汚水管渠整備が完了する予定です。																					
c ĸ.										#h - 1														
A C I	効率性野																	新刑·		ウイルス咸	沈宏	対策や物価高		
T I O	課題別	灣対領	等の の	重要	施策	の推進	により、	交付率が	が低下し	整備ペ	ースカ	が鈍化し	つつ	ありま	す。									
N	計画					4:		金を受け					ı					によ		ト縮減に努				
	二次評価	双評価者 上下水道課長 総 合 A 必要性 4 有効										有効性	4	達用	戊度 4	効	率性	4	今後	の方向性		現状維持		
	二次評 の指摘														今後も国 続して行				進捗状	―― 代況を把握	して惠	を備計画のスク		